

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	令和3年3月22日 午後7時00分から8時00分まで
3 会場	西部公民館 大ホール
4 出席者	小川委員、佐藤祥一委員、清水委員、滝沢委員、立木委員、町田委員、宮崎委員、向山委員、依田委員
5 市側出席者	【事務局】 小山西部地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月26日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3

(1) わがまち魅力アップ応援事業審査

【事務局より資料を基に説明】

花いっぱい会---採択---

(2) 調査研究について

① 令和元年東日本台風(台風19号)の話題を軸とした調査研究活動

(副会長) お手元に西部地域まちづくり防災部会からいただいた備品に関する資料を配布した。事前に送付した資料も含め意見をいただきたい。

(委員) 本日、西部地域まちづくりの会防災部会が開催された。令和3年度において、どのようなことを集中的に取り組みしていくかの話し合いをした。災害が起こった場合には、市のどこの部署が避難所の鍵を開けるのか、救援物資はどこから誰が持ってくるか、流れを市の担当者と確認する。この地域の場合、物資は第3中学校にあるそうだ。西部公民館は令和2年4月に避難場所に指定されたばかりなので物資はない。

(委員) 2月によりやく避難所の看板が立ったが、Wi-Fiはまだ整備されていない。

(委員) 西部公民館は防災倉庫もないし、駐車場も足りない。各自治会から市の危機管理防災課に要望を出しているが、なかなか進んでいない。

(委員) 他に年間通して自治会毎のハザードマップや救援マップ、住宅マップも作っていく予定と聞いている。

(委員)ハザードマップは作成済で配布されている。

(委員)市が作製したハザードマップが全戸配布されたので今日持参してきた。これがあるのに防災部会でもハザードマップでもやるのか、確認しようと思った。

(委員)まちづくりの会で作成したものは、住宅地図をもっと正確に、誰が住んでいるかを落として、要支援者を誰が助けに行くかをくっつけたものを、市とは別に業者に依頼して作成したもの。実際にはこれを使って自治会・消防団で要支援者を誰が支援するかまでできている。社協も協力している。

(副会長)行政も自治会もまちづくりの会も、それぞれがそれぞれの立場で動いている。そこを基に見える化することが大事。皆さんには知る権利があるので、周知していくことが大切。

(事務局)今後、防災について学習を進めていく方向ですが、まず皆さんに台風19号時の自分達の状況について意見を出し合った際の疑問をまず解決していくのがよいか。その疑問等を踏まえて、勉強会として出前講座をやっていったほうがよいか。出前講座をやる場合の講師依頼先は市か、それともまちづくりの会、自治連に依頼するのか。

(副会長)まちづくりの会防犯防災部会長と西部地区自治連会長が同じ小市会長なので、次の会議の際には小市会長に来ていただいて両方の立場から現状や課題についてお聞きしたいと思うが、いかがか。また、危機管理防災課にも話をお聞きしたいので、その次の協議会で別々に講座を依頼したいがいかがか。

(委員)はい。

(副会長)小市会長、危機管理防災課と日程調整の上、開催通知にてお知らせする。

②資源循環型施設の話題を軸とした調査研究活動

(事務局)担当課(資源循環型施設建設関連事業課)に勉強会の日程について確認したところ、4月末から5月にかけて住民説明会を開催する予定のため、そこに参加していただいたうえで、勉強会で説明したいとのことだがいかがか。

(副会長、委員)はい。

(副会長)4月は小市さんを交え情報提供、西部地域の課題抽出をし、5月に危機管理防災課に来てもらった際に課題に対してお答えいただく形で進めていきたい。その後資源循環型施設の勉強会としたい。

(事務局)事前に資源循環型施設からの資料を送ったため、防災も含め、皆さんに意見をいただきたい。

(委員)小市会長から防災について話を聞いておくと、わかりやすくてよい。

(委員)データをどういう風を集めてこれからの協議の中で利用していくかは協議会としての方向性があるから、事務局・会長・副会長の方で絞り込んでいくのも1つの方法かと思う。委員皆さんそれぞれの意見

があるからここで話していてもなかなかまとまらない。

(委員)まちづくりの会でいろいろ検討してくれているようなので、それがどこまで進んでいるのかわからない段階で同じようなことをここで議論しても仕方ない。まちづくりの会部会でまとめた問題点を吸い上げたらどうか。備品一覧表は誰でも見れるようなものを作っただけだとありがたいが、まちづくりの会でやっているのだから改めて地域協議会でやる必要はない。

資源循環型の方について、資料を見て内容は理解できたが、今現在の問題点が分からない。詳しく話が聞ける場があるとよい。

(委員)防災についてはまちづくりの会から情報もらって、生活者のレベルで問題点があれば挙げて提言にしていく。資源循環については、皆さんにネットで環境アセスを見ておいていただきたい。何年間も市と対策連絡会と懇談会も続けているが、担当課から説明してもらわないと、提言までのレベルにいかない。

(委員)資料を読んでごみの量を減らしたいという理想は分かった。

(委員)水害などいろいろな問題が出ているので、担当課に説明してもらわないと。とにかく今のクリーンセンターでは限界の状況ある。

(委員)まちづくりの会部会との繋がりもよくわからないので、情報収集する必要を感じている。役員としての活動を任されたからには、他の役員と兼任していない者の立場として、いろいろ意見を言っていければと思う。

(委員)地域協議会、まちづくりの会、自治連でも同じような問題点が挙げられている。情報共有できるものは共有しながら、やっていくと効率的な会議になると感じた。

(委員)つい最近も東北で地震があって、災害があったらどうしようと改めて思った。一番災害に力を入れないといけないと思っている。備蓄品等の資料が地域・自治会に行き渡るといい。

ごみ処理場については、3つの処理場を1つにするということだが、そうすると大きいものになる。現在の上田クリーンセンター近くに住んでいる人達はおいが気になると聞く。新しく建設した際は、においなど害のないものにして、生活しやすい処理場になるとよい。

(委員)防犯防災部会でより深い話をしていると思うが、その話が地域協議会にも伝わってくるという仕組みができればよいと思う。

(3)その他
特になし

4 閉会